

協働事業プロセス相互検証シート

1 事業計画段階

【共有できしたことや認識に違いがあったこと】

- ・事業ごとに、年度当初に区・拠点の担当者で打ち合わせを行い、目的や方向性を共有できている。
- ・定例会(月1回)を活用し、拠点と協働で行う事業について、目的や内容を確認している。
- ・定例会や各事業の打ち合わせ等の場面で、子育て家庭の価値観や育児スタイルを共有している。その積み重ねから課題や取り組むべきことが明確になり、事業計画に至っている。

【今後改善が必要と思われること】

- ・区の事業(協働事業以外の事業を含む)と拠点事業の目的や内容についても、計画段階から情報共有をしていく必要がある。

2 事業実施段階

【共有できしたことや認識に違いがあったこと】

- ・お互いの事業の進捗状況を確認し、対等な立場で意見交換ができている。
- ・お互いが対象とする層を意識し、役割分担できている。
- ・お互いが実施する事業や支援を認識し、連携をとつて支援にあたっている。

【今後改善が必要と思われること】

- ・より効果的な事業実施につなげるため、目的に合った対象者に事業の周知ができるように、区職員が拠点に足を運び、実際の様子を確認する。
- ・お互いの事業の進捗は、定例会が主な報告の場となるが、タイムラグが生じることがあるため、必要に応じ、隨時、確認や見直しが必要。

3 事業の振り返り段階

【共有できしたことや認識に違いがあったこと】

- ・7つの拠点事業ごとに、中間振り返り、年度末振り返りを行い、お互いの考えに相違点がなかったか話し合っている。次年度以降の取り組みに生かしている。
- ・協働で実施する事業の具体的な中身に関しては、必要に応じ打ち合わせを設け、都度、方向性の確認や、振り返りを行っている。

【今後改善が必要と思われること】

- ・事業の目的に沿った事業実施ができたか、どのような効果が得られたかを振り返り、次年度の計画へ反映できていることを、引き続きお互いに確認する。